

こどもの福祉に取り組む弁護士、自治体・児童相談所等職員、研究者等が
一時保護の実務と法的対応を徹底解説



児童相談所における 一時保護の 実務と法的対応

こども中心のソーシャルワークと
保護者支援・司法審査

岩佐嘉彦 大畑亮祐 進藤千絵 編著

2025年7月刊 A5判 472頁 定価5,610円（本体5,100円） 978-4-8178-5003-4 商品番号：41000 略号：児保

● 2025年6月施行「一時保護時の司法審査」（2025年5月「一時保護ガイドライン」改正）
完全対応。

● 一時保護施設の運用を、現場の実務と法律の両面から詳説。

目次

第1章 制度解説編

- 第1節 一時保護の制度の概要と機能
- 第2節 統計でみる一時保護
- 第3節 これまでの法改正の経緯
- 第4節 一時保護（施設）の構造的な課題
- 第5節 変革を迫られる一時保護施設

第2章 実務運用視点による解説編

- 第1節 一時保護の実施・解除の
アセスメント
- 第2節 一時保護実施時の留意点
- 第3節 一時保護施設的环境・ケア・
アセスメントの実践

第4節 一時保護委託と子どもシェルター

第3章 法的論点の解説・検討編

はじめに——本章の趣旨と特徴

- 第1節 「一時保護」制度の概要
- 第2節 一時保護の要件解釈上の論点
- 第3節 一時保護の実施時に生ずる諸問題
- 第4節 一時保護の法的性質
- 第5節 一時保護に関する司法審査
——一時保護に関する各種裁判等
の手續
- 第6節 一時保護後（一時保護中）に
生じる諸問題

第7節 一時保護委託（委託一時保護） に関する問題

第8節 一時保護の解除

第4章 課題検討編

- 第1節 一時保護中の子どものアドボケイト
- 第2節 AHT 事案と一時保護をめぐる問題
- 第3節 一時保護中の保護者等との面会
通信制限について
- 第4節 児童が一時保護された親側の対応
- 第5節 一時保護に対する司法審査の運用
上の留意点について
- 第6節 児童虐待ケースに対する裁判所の
関与をめぐるあるべき制度につい
て——一時保護制度を中心に考える

編著者・執筆者一覧

岩佐嘉彦 弁護士（大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員）・神戸市北神区役所要保護児童対策地域協議会スーパーバイザー
大畑亮祐 弁護士・保育士（大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員／堺市児童虐待等援助チーム委員）
進藤千絵 弁護士（大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員）

安部 計彦 日本児童相談業務評価機関代表理事・社会福祉士・
元西南学院大学教授

石田 文三 弁護士（大阪市児童福祉審議会委員）

井上 景 公立大学法人長野大学社会福祉学部准教授

江口 晋 大阪市大正区要保護児童対策地域協議会スーパー
バイザー・元大阪府中央子ども家庭センター所長

木下 裕一 弁護士（日本弁護士連合会子どもの権利委員会監事）

玉野まりこ 弁護士（大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員）・
特定非営利活動法人子どもセンターぬっく理事長

中村 善彦 弁護士（大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員）

根ヶ山裕子 弁護士（名古屋市西部児童相談所常勤弁護士）

古本 剛之 弁護士（大阪府児童虐待等危機介入援助チーム委員）

茂木 健司 杉並区子ども家庭部副参事

安井 飛鳥 弁護士（児童相談所勤務）・社会福祉士・精神保健
福祉士・全国子どもアドボカシー協議会自治体スター
トアップサポーター）



日本加除出版

営業部
TEL:03-3953-5642
FAX:03-3953-2061

〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号 営業時間：月～金（祝日除く）9:00-17:00

X (旧 Twitter) @nihonkajo
www.kajo.co.jp



日本加除出版HP